

一般質問

(2〜5ページ上段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は21人32件の一般質問がありました。

(他はその他の質問)

スマートフォン等を操作しながらの歩行行為
市で抑止啓発を実施する考えは

広報紙等での啓発や
携帯電話販売事業者と
連携した啓発も検討していく

横田実議員(市政) 近年、スマートフォン等を操作しながら歩行する危険な行為が新たな社会問題となっているが、市はどう考えているか。



▲「ながら使用」は危険です

市長 いわゆる「ながら使用」については、周囲への注意力が散漫になるため、他の歩行者や自転車との接触、駅のホームからの転落等、事故の可能性が高まるものと考えますが、法律に抵触する行為でないため警察の取締りも行われず使用者のマナーに頼らざるを得ない状況にある。

避難支援に関し
災害対策基本法改正のポイントは

本人の同意なしで関係者に
避難行動要支援者名簿を
提供できることが挙げられる

山上稔議員(市フオ) 災害時において、特別な支援を必要とする要援護者への対策について本市での課題を聞きたい。

改正のポイント。また、改正を受け、市ではどのような対策を考えているか。

平成26年度予算の編成における
予算配分の方法は

事務事業ごとに予算削減率を定め
査定を行うこととしている

村木茂議員(市政) 平成26年度予算の編成に当たっては、予算配分の方法を改めることだが、具体的な内容を聞きたい。

桜通りにあける今後の
バリアフリー化の取組は

改善計画案の策定等に
取り組んでいきたい

須山卓知議員(市フオ) 東京オリンピック・パラリンピックの2020年開催に向け、都市のバリアフリー化を進めることが重要と思うが、市交通バリアフリー計画の進捗状況を聞きたい。

市長 本市では、誰もが安心して移動できるまちづくりを

行政管理者 今後は本市の

地域特性や実情等を踏まえ、

行政管理者 今後は本市の地域特性や実情等を踏まえ、避難行動要支援者名簿の作成が市町村長に義務づけられたことや災害が発生、または発生の恐れがある場合、本人の同意なしで避難支援等関係者に避難行動要支援者名簿を提出することが必要とされている。

都市整備部長 協議会では、桜の木の下が対策を初めとした課題の整理や整備方針の検討などを行っており、平成25年度末までに市に対し提言をいただく予定である。市民の意見を取り入れながら改善計画案の策定等に取り組んでいきたいと考えている。

東京競馬場があることによる
まちづくりをどう考えているか

その優位性を最大限に活用した
施策の展開を図ってきたい

白井克寿議員(市政) 本市には東京競馬場を通じて週末ごとに多数の方が来訪されるが、この環境を積極的に活用

市長 市では、同競馬場を単なるレース場ではなく観光資源の側面を有する施設と位置付けており、「にぎわいと魅力のあるまちづくり」の推進に向けてその優位性を最大限に活用した施策の展開を図ってきたいと考えている。



▲東京競馬場

第2次市教育プラン案
9年間を見通した系統性を
踏まえた指導における取組は

小・中一貫教育の
推進検討委員会を設置し
支援をしていきたい

小野寺淳議員(市政) 第2次市教育プラン案にある「中

間を見通した系統性を踏まえた指導」における、具体的な取組を聞きたい。

教育長 学習指導要領により、これまで小・中学校9年間の系統性は保たれていたが、各学校での対応にとどまり十分ではなかった。

議員 武蔵村山市教育委員会では、小・中一貫漢字学習を

小・中学校が連携して学力や学習状況についての課題、解決策を明確にし、それに基

※()内は、会派名を略して掲載しました。市政…府中市議会市政会 市フオ…市民フォーラム 公明…府中市議会公明党 共産…日本共産党府中市議団 ネット…生活者ネットワーク 志高…志高会 友愛…友愛会